

## ワラ細工わらじ・ぞうり体験講座 H30.4.4 (水)

北上山地民俗資料館では、昨年度に続いて4回目となる「わらじ・ぞうり作り」の体験教室を開催しました。講師は、小国地区の湯澤武さん、湯澤孝さんで、8名の参加者が郷土芸能やお祭りに欠かせない[わらじ]や、鼻緒をつけて脱ぎ履きがしやすい[ぞうり]の作り方を教わりました。



丈夫で履きやすい[わらじ]・[ぞうり]を作るうえで、下準備の「ワラ打ち」はとても重要な工程です。重い[槌]で何度もワラを打つ作業はとても大変です。「ワラ打ち」は、最初に「かっしゃ打ち」をして「ふくだ(茎の外側の皮)」を取り除きます。そうするとワラの量は約半分になります。次に「かっしゃ打ち」をしたワラ2束を1束にまとめ、「仕上げ打ち」をします。柔らかくしなやかになったワラで作ると丈夫で形の良いものが作れるそうです。そこで今回は、参加者のみなさんに「ワラ打ち」の体験から挑戦していただきました！

それから縄紬いを始めました。講師の方の藁を紬う手速さにみなさん大変驚いていましたが、苦戦しながらも手足を十分に使い1足を仕上げました。

～ワラ打ち～  
まずはお手本から！



みなさんが  
見守る中、  
挑戦！

### ぞうり作りチーム



### わらじ作りチーム

